

聖霊：「神の霊は私たちの内に宿る」

はじめに：「生まれ変わり」を理解する

「生まれ変わる」という言葉は、聖霊による霊的な変容を意味し、キリストにおける新しい命の始まりを意味します。ヨハネによる福音書 3:3-5 には、「人は新しく生まれなければ、神の国を見ることはできません。…人は水と霊によって生まれなければ、神の国に入ることができません」とあります。この研究では、聖霊の性質、力、存在、人格を、次のような象徴を通して探究します。メリバの岩から湧き出る水（出エジプト記 17:1-7、民数記 20:1-13）、キリストと同一視される（コリント人への第一の手紙 10:4）、ペテロのような指導者を通して伝達される（ケファ、「岩」、ヨハネによる福音書 1:42）、神の民の燭台を燃やす油（ゼカリヤ書 4:2-6、14）、ペンテコステの炎の舌（使徒言行録 2:3-4）、イスラエルを導く夜の火と昼の雲（出エジプト記 13:21-22、ネヘミヤ記 9:19-20）。ノアの洪水の鳩（創世記 8:8-12）とイエスの洗礼（マタイ 3:16）は、再生と清さを象徴しています（レビ記 5:7、12:6-8、ルカ 2:22-24）。洪水の清めの水は洗礼を予示しています（創世記 6:5-8:22、ペトロの手紙一 3:20-21）。命を与えるパンとしてのマナ（出エジプト記 16:4-35）は聖餐式で成就しました（ヨハネ 6:31-35、51-56）。キリストの犠牲によって開かれた道（ヘブライ人への手紙 10:19-22）は、信者を神殿として聖霊が宿ることを可能にしました（コリント人への手紙一 6:19）。これらのシンボルは、悔い改め、洗礼（使徒行伝 2:38、ヨハネ 3:5）、そしてキリストへの参与の捧げ物としての聖餐（コリント第一 10:16-17、ヘブライ 13:15）を強調し、信者を聖なる者となるように準備し（ペテロ第一 1:16、コリント第一 11:27-29）、信仰から離れないように警戒し（ヘブライ 6:4-6、マタイ 12:43-45）、キリストの再臨のためにキリストの花嫁として彼らを支える（エペソ 5:25-27、黙示録 19:7-9）ものです。

ヘブライ人への手紙 6 章 1-3 節の文脈では、この変容は「洗礼、按手、死者の復活、永遠の裁きについての教え」を含む基礎的な教義に基づいています。複数形の「洗礼」（ギリシャ語：baptismōn）は、様々な儀式的な洗浄、ヨハネの悔い改めの洗礼、キリスト教の水の洗礼、聖霊による洗礼を含み、これらはすべて聖霊の再生の働きと相互に関連しています。按手は、しばしば聖霊の授けや使命の授けと結びついており、この内住の目に見えるしるしとして機能します。これについては、後述の専用セクションでさらに詳しく考察します。

神は霊である

A. 神の霊は神ご自身である

神の霊は神自身の本質であり、遍在する神の人格と、神の民への近さを体現しています。創世記 1 章 2 節には、「神の霊が水の面を覆っていた」とあり、創造の時から存在していたことを示しています。詩篇 139 篇 7-8 節には、「わたしはあなたの霊からどこへ行けばよいのでしょうか。あなたの御前からどこへ逃げればよいのでしょうか。天に昇っても、あなたはそこにいます」とあり、神の霊が神の避けがたい存在であることを示しています。イザヤ書 40 章 13 節には、「誰が主の霊を測ることができようか。誰が主の御心を示すことができようか」とあり、霊の神性を肯定しています。ヨブ記 33 章 4 節には、「神の霊がわたしを造り、全能者の息がわたしに命を与える」とあり、霊を創造と命に結びつけています。イザヤ書 63 章 10 節には、「しかし彼らは反逆し、聖霊を悲しませた」とあり、聖霊が不従順によって悲しむことができる人格的な性質を持っていることを示しています。これは、聖霊が信者の中に宿るという新約聖書の約束（コリント人への手紙第一 6 章 19 節）への準備となります。聖霊の人格性は、イエスの洗礼の際に鳩として降臨されたことに鮮やかに表れています（マタイによる福音書 3 章 16-17 節：「神の霊が鳩のように下ってイエスの上にとどまり、見よ、天から声がした。『これはわたしの愛する子である』」）。

聖霊は、神の人格とは切り離された思考を持つ非人格的な感情や力ではなく、三位一体の中の神聖な人格であり、知性、意志、感情を備えている。聖霊は教え、思い起こさせ（ヨハネ 14:26：「聖霊は…あなたがたにすべてのことを教え、わたしがあなたがたに話したすべてのことを思い出させるでしょう」）、真理へと導き（ヨハネ 16:13：「真理の御霊が来ると、あなたがたをすべての真理へと導き…これから起こることをあなたがたに告げるでしょう」）、罪を悟らせ（ヨハネ 16:8：「罪と義と裁きについて世を悟らせるでしょう」）、うめきながら執り成し（ローマ 8:26-27：「御霊ご自身が、言葉に表せないうめきをもって…神の御心に従って、わたしたちのために執り成してください」）、悲しませたり（エペソ 4:30：「神の聖霊を悲しませてはいけません」）、神ご自身に対して嘘をついたり（使徒 5:3-4：「あなたがたは聖霊に嘘をついたのです…あなたがたは人に嘘をついたのではなく、神に嘘をついたのです」）することができます。聖霊は語り（使徒 13:2：「聖霊は言われた、『バルナバとサウロをわたしのために選び出さない』」）、心を持ち（ローマ 8:27：「人の心を探り知る方は、御霊の思いを知っておられる」）、御心に従って賜物を分配します（第一コリント 12:11：「これらすべては、同じ一つの御霊によってなされ、御霊は御心のままに一人ひとりに賜物を分け与えておられるのです」）。これらの属性は、聖霊が単なる感情や非人格的なエネルギーではなく、父と子と同等の人格を持つ存在であることを確証しています（マタイ 28:19：「父と子と聖霊の名によって彼らにバプテスマを授けなさい」、第二コリント 13:14：「主イエス・キリストの恵みと神の愛と聖霊の交わりが、あなたがた

すべてと共にありますように」)。

- 関連する聖句：コリント人への第二の手紙 3:17、「主は霊であり、主の霊のあるところには自由があります」；ハガイ書 2:5、「わたしの霊はあなたがたの中にとどまります。恐れるな」；ヨハネによる福音書 4:24、「神は霊である。だから、神を礼拝する者は、霊と真理をもって礼拝しなければならない」；ローマ人への手紙 8:27；コリント人への第一の手紙 2:10-11、「御霊は、神の奥深いところまでも、あらゆることを探り出す」。

B. 創造における聖霊の働き

聖霊は神の創造力であり、命を創造し、維持する力です。創世記 1 章 2 節には「神の霊が水の面を覆っていた」とあり、創造の始まりにおける聖霊の役割を示しています。ヨブ記 33 章 4 節には「神の霊が私を造り、全能者の息が私に命を与えた」とあり、聖霊の命を与える力を強調しています。詩篇 104 篇 30 節には「あなたが御霊を送られると、彼らは造られ、あなたは地の面を新しくされる」とあり、信者の霊的な刷新（エペソ 2:5）を予示しています。創世記 2 章 7 節には「主なる神は…彼の鼻に命の息を吹き込まれた」とあり、聖霊（ヘブライ語：ruach、息）と人類の活力を結びつけています。この創造力は、霊的な再生（ヨハネ 3:6）における聖霊の役割と、岩であるキリストからの生ける水の供給（ヨハネ 7:37-39）を予示しています。

- 関連する聖句：エゼキエル書 37 章 14 節「わたしはわたしの霊をあなたがたのうちに置き、あなたがたは生きるであろう」；ヨブ記 26 章 13 節「彼の霊によって天は飾られた」；ヨブ記 34 章 14-15 節「もし彼が自分の霊を自分の中に取り戻したなら…すべての肉なる者は共に滅びるであろう」；イザヤ書 42 章 5 節「天を創造した方…天上の人々に息を吹き込み、天を歩む者に霊を与える方」

C. 神の指導者たちの中にある聖霊

聖霊は旧約聖書の指導者たちに力を与えました。民数記 11 章 17 節には、「わたしはあなた（モーセ）に宿っている霊の一部を取り、彼ら（長老たち）に授ける」とあります。士師記 6 章 34 節には、「主の霊がギデオンを覆った」とあります。サムエル記上 16 章 13 節には、「主の霊がダビデに臨んだ」と記されています。イザヤ書 61 章 1 節には、「主なる神の霊がわたしの上にある。主がわたしに油を注がれたからだ」と宣言されており、これはキリストにおいて成就しました（ルカによる福音書 4 章 18 節）。これらの事例は、聖霊の普遍的な注ぎ出し（使徒言行録 2 章 17-18 節）と、信者の霊的指導力を支えるキリストの体と血への聖餐式における参与（コリントの信徒への手紙一 10 章 16-17 節）を予示しています。

- 関連する聖句：ヨエル書 2 章 28 節「わたしはわたしの霊をすべての肉なる者に注ぐ」、ペテロの手紙第一 2 章 5 節「あなたがた自身も生きた石として、霊の家、聖なる祭司職となるために建て上げられている」、ミカ書 3 章 8 節「わたしは主の霊によって力に満たされている」、エゼキエル書 2 章 2 節「御霊がわたしの中に入り、わたしを立たせた」。

D. 岩から湧き出る水と昼間の雲としての霊

聖霊は、岩から流れ出る命を与える水、昼間の導きの雲、鳩、ノアの洪水の清めの水として描かれ、その供給、導き、浄化、再生を象徴しています。メリバの水（出エジプト記 17:1-7、民数記 20:1-13）は、キリスト（第一コリント 10:4）と同一視される岩から流れ出ており、聖霊の注ぎ出し（ヨハネ 7:37-39）を予示しています。昼間の雲はイスラエルを導き（出エジプト記 13:21-22、ネヘミヤ記 9:19-20）、聖霊の導き（ヨハネ 16:13）を予示しています。ペテロは「岩」を意味するケファと呼ばれ、ヨハネ 1:42 に記されているように、聖霊に満たされた説教を通してこの水を伝え（使徒 2:38-41）、キリストという究極の土台に従属する使徒的リーダーシップ（マタイ 16:18、エフェソ 2:20）を体現しています（第一コリント 3:11、第一ペテロ 2:6-8）。民数記 20:12 は、不信仰が信仰から離れることのないよう、信仰の必要性を警告しています（ヘブライ 3:12-14）。生ける水は聖餐式と結びついており、そこではぶどう酒がキリストの血を表し（ヨハネ 19:34）、信者を聖なる祭司職として結びつけています（第一ペテロ 2:5、第一コリント 10:16-17、ヘブライ 13:15）。

- 関連する聖句：イザヤ書 44:3、「わたしは渇いた地に水を注ぎ、…わたしはあなたの子孫にわたしの霊を注ぐ」；詩篇 143:10、「あなたの良き霊がわたしを平地に導いてくださいますように」；ヨハネによる福音書 19:34、「血と水が流れ出た」；ヨハネによる福音書 6:35、「わたしは命のパンである。わたしに来る者は決して飢えることがなく、わたしを信じる者は決して渇くことがない」；詩篇 105:39、「主は雲を広げて覆い、夜には火を広げて光を与えた」；イザヤ書 4:5、「主は…昼には雲を、夜には煙と燃える火の輝きを創造される」。

E. 聖霊はランプの油のように火を起し、炎の舌を発する。

聖霊は、ランプに油を注いで光を生み出すことに例えられ、その力と臨在の現れは火に例えられます。マタイによる福音書 25 章 1-13 節では、賢い乙女たちの油はキリストの再臨への備えを表し、教会がキリストの花嫁であることを象徴しています（エフェソの信徒への手紙 5 章 25-27 節）。出エジプト記 27 章 20-21 節では、幕屋の燭台に油を注ぐよう命じており（出エジプト記 25 章 31-37 節）、これは神の民（黙示録 1 章 20 節）が聖霊によって力づけられていることを象徴しています（「力によるのではなく、権力によるのではなく、わたしの霊によって」ゼカリヤ書 4 章 6 節）。ペンテコステの

日には、「炎のような舌」（使徒言行録 2 章 3-4 節）が現れ、力が与えられました（使徒言行録 2 章 17-18 節）。夜の火の柱はイスラエルを導き（出エジプト記 13:21-22）、聖霊の教えと結びついていた（ネヘミヤ記 9:19-20）。

- 関連する聖句：イザヤ書 61:1、「主なる神の霊がわたしの上にある。主がわたしに油を注がれたからだ」、ルカによる福音書 3:16、「彼は聖霊と火であなた方にバプテスマを授ける」、マタイによる福音書 5:16、「あなたがたの光を人々の前で輝かせなさい」、テサロニケ人への手紙第一 5:19、「御霊を消さないでください」、ヨハネによる福音書 6:54、「わたしの肉を食べ、わたしの血を飲む者は永遠の命を得る」、使徒言行録 4:31、「彼らは皆聖霊に満たされ、大胆に神の言葉を語り続けた」、ヘブライ人への手紙 12:29、「私たちの神は焼き尽くす火である」。

F. 風のような霊の動き

聖霊の働きは主権的で神秘的であり、風の予測不可能な動きに例えられます。ヨハネによる福音書 3 章 8 節には、「風は思いのままに吹く…霊によって生まれた者も皆、そのとおりである」とあります。これは聖霊の命を与える力（エゼキエル書 37 章 9-10 節）を反映しています。列王記上 19 章 11-13 節では、神の臨在は「ささやき声」で示されており、繊細な導きを示唆しています。

- 関連する聖句：エゼキエル書 37 章 9-10 節「息に向かって預言せよ…すると息が彼らの中に入り、彼らは生き返った」；列王記上 19 章 11-13 節；使徒行伝 2 章 2 節「突然、天から激しい風のような音がした」；ヨブ記 38 章 1 節「すると主は旋風の中からヨブに答えた」。

イエス・キリストの聖霊

A. イエスの力としての聖霊

聖霊はイエスの宣教活動を力づけた。ルカによる福音書 4 章 14 節には、「イエスは聖霊の力によってガリラヤに戻られた」とある。使徒言行録 10 章 38 節には、「神はイエスに聖霊と力をもって油を注がれた」とある。マタイによる福音書 12 章 28 節には、イエスが「もし私が神の霊によって悪霊を追い出しているのなら、神の国はあなたがたのところに来たのだ」と言われたと記されている。

- 関連する聖句：ヨハネによる福音書 3 章 34 節「神は御霊を限りなく与えてくださる」、ヨハネによる福音書 1 章 32-33 節「私は御霊が鳩のように天から下ってくるのを見た」、ローマ人への手紙 8 章 11 節「イエスを死者の中からよみがえらせた方の御霊」、ルカによる福音書 4 章 1 節「イエスは聖霊に満たされて…御霊に導かれて荒野に行かれた」。

B. 信者に与えられる聖霊

イエスは信者たちに聖霊を約束されました。ヨハネによる福音書 14 章 16-17 節には、「わたしは父にお願いします。そうすれば、父はもう一人の助け主、すなわち真理の御霊をあなたがたに与えて、永遠にあなたがたと共におられるでしょう」とあります。使徒言行録 2 章 38-39 節には、「悔い改めてバプテスマを受けなさい。そうすれば、聖霊の賜物を受けるでしょう」と記されています。

- 関連する聖句：ガラテヤ 3:14、「私たちは信仰によって約束の御霊を受けることができる」；エペソ 1:13、「約束の聖霊によって印を押された」；使徒 5:32、「聖霊は、神がご自分に従う者たちに与えてくださったものです。」

C. 聖霊の特徴

1. 神の位格：聖霊は知性、感情、意志を持つ人格です。聖霊は教え（ヨハネ 14:26）、悲しみ（エフェソ 4:30）、執り成し（ローマ 8:26-27）ます。聖霊は三位一体の一部です（マタイ 28:19、コリント第二 13:14）。
 2. 永遠かつ遍在：ヘブライ人への手紙 9 章 14 節、詩篇 139 篇 7-10 節。
 3. 真理と導きの源：ヨハネによる福音書 16 章 13 節、コリントの信徒への手紙一 2 章 10-14 節。
 4. 力を与え、装備を与える者：使徒行伝 1 章 8 節、コリントの信徒への手紙一 12 章 4-11 節。
 5. 囚人と再生者：ヨハネ 16:8-11、テトス 3:5、ヨハネ 3:5-8。
 6. 実を結ぶ：ガラテヤ人への手紙 5:22-23。
 7. 慰め主であり弁護者：ヨハネによる福音書 14 章 16-17 節、26 節；ローマ人への手紙 8 章 26 節。
 8. 聖く清い：ローマ人への手紙 1 章 4 節、ペトロの手紙一 1 章 2 節、コリント人への手紙一 6 章 19 節。
- 関連する聖句：コリント人への手紙第一 12:3、「聖霊によらなければ、だれも『イエスは主である』と言うことはできません」；使徒言行録 13:2、「聖霊は言われた、『バルナバとサウロをわたしのために選び出しなさい』」；コリント人への手紙第一 12:11、「神は御心のままに、一人ひとりに分け与えてくださるのです」。

D. 精神力を試す

信者は「霊を見分けなければならない」(第一ヨハネ 4:1)。

1. イエス・キリストの信仰告白：ヨハネの手紙一 4:2-3、ヨハネによる福音書 16:14。
2. 聖書との一致：テモテへの第二の手紙 3:16、ペテロへの第二の手紙 1:21、イザヤ書 8:20、使徒言行録 17:11。
3. 実と人格：ガラテヤ人への手紙 5:22-23、マタイによる福音書 7:15-20。
4. 神の栄光を称える：ヨハネによる福音書 16 章 13-14 節。
5. 祈りと共同体を通して識別する：フィリピの信徒への手紙 1:9-10、ヤコブの手紙 1:5、コリントの信徒への手紙一 14:29、使徒言行録 15:28。
6. 預言と徴候を検証する：申命記 13:1-3、第一コリント 14:3-4、マタイ 24:24。
7. 内なる証人：ローマ人への手紙 8 章 16 節、ヨハネの手紙一 2 章 27 節。
 - 関連聖句：テサロニケ人への手紙第一 5:21、「すべてを吟味しなさい」；ヨハネの手紙第二 1:9、「教えにとどまる者は、父と子との両方を持っている」。

E. 聖霊の働き方

1. 聖書を通して：テモテへの第二の手紙 3:16、ペテロへの第二の手紙 1:21、ヨハネによる福音書 16:13、コリント人への第一の手紙 2:12-14。
2. 内なる促しと確信：ローマ人への手紙 8 章 16 節、使徒言行録 16 章 6-7 節。
3. 祈りを通して：ローマ人への手紙 8:26-27
4. 幻と夢：使徒行伝 2 章 17 節、ヨエル書 2 章 28 節、使徒行伝 10 章 9-16 節、使徒行伝 16 章 9-10 節。
5. 聞こえる声、または直接的な啓示：使徒行伝 8 章 29 節、使徒行伝 10 章 19-20 節。
6. 霊的な賜物を通して：コリント人への手紙第一 12:4-11、コリント人への手紙第一 14:3。
7. 他の信者を通して：使徒行伝 15:28、コリント人への第一の手紙 14:29。
8. 罪と真理の確信：ヨハネによる福音書 16 章 8-11 節
9. 実と人格：ガラテヤ人への手紙 5:22-23

- 主な特徴：キリスト中心（ヨハネ 16:14）、聖書に合致（第一ヨハネ 4:1-3）、人を励ます（第一コリント 14:4, 12）、個人的な内容（ヨハネ 14:17）。関連聖句：使徒 20:22 「御霊に導かれて」、ガラテヤ 5:25 「御霊に従って歩みなさい」。

按手：聖霊と結びついた基礎的な実践

ヘブライ人への手紙 6 章 2 節にある「按手」は、洗礼に続いて行われることが多い基本的な教義であり、聖霊の移転、祝福、任命、または授けを象徴するものである。

意味と目的

譲渡または識別、任命と確認（1 テモテ 5:22）、癒しと祝福、聖霊との関係（必ずしも必要ではない、例：使徒 10:44-46）。

旧約聖書の例

祝福（創世記 48:14-19）、罪の移転（レビ記 1:3-4、16:20-22）、任命（民数記 8:10-14）、裁き（レビ記 24:14-15）。

新約聖書の例

癒し（マルコ 6:5、ルカ 4:40、13:13、マルコ 16:18、使徒 28:8）、任命（使徒 6:6、使徒 13:3）、賜物の授与（1 テモテ 4:14、2 テモテ 1:6）、聖霊との関係（使徒 8:17-19、使徒 19:6）。

聖霊とのつながりと洗礼

洗礼の後に行われ、聖霊の満たしを祈願し（使徒行伝 8:14-17、19:1-6）、仲間入りと賜物の授与を確認する。今日では、叙任式、癒し、聖霊のバプテスマなどで用いられる。

- 関連する聖句：ヘブライ人への手紙 6 章 2 節、使徒言行録 9 章 17 節「アナニアは彼に手を置いて…聖霊に満たされるように」、民数記 27 章 18-23 節。

私たちの心の中にあるキリストの力としての聖霊

A. 救済の保証

聖霊は救いを保証してください。エペソ 1:13-14 には、「約束された聖霊によって印を押されました。聖霊は、私たちの相続の保証です」とあります。コリント第二 1:22 には、「私たちの心に御霊を与え、保証としてくださいました」とあります。ヘブル 9:14 には、「永遠の御霊によってご自身をささげられたキリストの血」が、奉仕のために私たちを清めてくださると宣言されています。聖霊は洗礼と聖餐を通して信者を印し、信仰から離れることから守ってください。

- 関連する聖句：エペソ人への手紙 4:30、民数記 20:12、ヘブライ人への手紙 3:12-14、第一ヨハネ 5:16、創世記 7:7、ローマ人への手紙 8:23、第二コリント人への手紙 5:5。

B. 敬虔な人格の形成

聖霊は信者を変容させます。ガラテヤ人への手紙 5 章 22-23 節には聖霊の実が列挙されています。ローマ人への手紙 8 章 13 節には、「あなたがたは御霊によって、体の行いを滅ぼすのです」とあります。聖霊は人を新しくし（テトスへの手紙 3 章 5 節）、キリストの姿に似た者へと変えていきます（コリント人への第二の手紙 3 章 18 節）。

- 関連する聖句：エペソ人への手紙 5:9、ローマ人への手紙 15:13、フィリピ人への手紙 2:13。

C. 証人を支援する

聖霊は宣教のための力を与えてください。使徒行伝 1 章 8 節には、「あなたがたは力を受け、わたしの証人となるでしょう」とあります。ヨハネによる福音書 15 章 26 節には、「御霊がわたしについて証しをしてください」と記されています。

- 関連する聖句：ペテロの手紙第一 4:11、使徒言行録 4:33、ローマ人への手紙 15:19。

聖霊は私たちの心の中に宿るキリストの存在である

A. 聖霊の神殿

信者は神殿であり、祭司職である。コリント人への手紙第一 6:19、3:16、コリント人への手紙第二 6:16、ペテロの手紙第一 2:5。キリストの犠牲は、その道を開く（ヘブライ人への手紙 9:8、11-14、10:19-22）。聖霊は宿り、洗礼（出エジプト記 30:17-21、ヨハネによる福音書 13:5-10、コリント人へ

の手紙第一 5:6-8)、燭台 (出エジプト記 27:20-21、ヨハネの黙示録 1:20)、香 (出エジプト記 30:1-8、詩篇 141:2、ヨハネの黙示録 8:4)、供えのパン (出エジプト記 25:30、ヨハネの黙示録 6:35) などの神殿の要素が聖餐式で成就される。黙示録 21 章 3 節は、(エフェソの信徒への手紙 2 章 21-22 節の) 比喩を成就している。

- 関連する聖句：エペソ人への手紙 2 章 21-22 節、ローマ人への手紙 12 章 1 節、ペトロの手紙一 2 章 9 節。

B. 聖霊の執り成し

ローマ人への手紙 8 章 26-27 節には、「御霊が私たちのためにとりなしてくださる」とあります。エペソ人への手紙 6 章 18 節には、「いつも御霊によって祈りなさい」と勧めています。

- 関連する聖句：ヘブライ人への手紙 7 章 25 節、ローマ人への手紙 8 章 34 節。

C. 聖書を通して得られる聖霊の導き

テモテへの第二の手紙 3:16-17、ヨハネによる福音書 16:13、詩篇 119:105。

- 関連する聖句：ペテロ第二 1:21、コリント第一 2:13、ネヘミヤ記 9:20、イザヤ書 30:21、ローマ人への手紙 8:14。

聖霊 I：聖霊の働きにおける重要な側面

A. 聖霊の内住

洗礼で受け (使徒行伝 2:38-39、ローマ人への手紙 8:9)、これは「霊による洗礼」と呼ばれ (コリント人への第一の手紙 12:13)、人を変容させ、力を与える (コリント人への第二の手紙 3:18、使徒行伝 1:8)。

- 関連する聖句：ヨハネによる福音書 7 章 39 節、テトスへの手紙 3 章 5-6 節、ガラテヤ人への手紙 4 章 6 節。

B. 聖霊の奇跡的な賜物

使徒の手を通して伝えられ (使徒行伝 8:17-18、テモテへの手紙第二 1:6)、確認のために与えられた (ヘブライ人への手紙 2:3-4)。コリント人への手紙第一 13:8-10 は、啓示の完了 (テモテへの手紙第二

3:16-17) によって終結したことを示唆している。今日では、預言は教えとして用いられている（コリント人への手紙第一 14:3、ローマ人への手紙 12:6）。

- 関連する聖句：ユダの手紙 3 節、コリントの信徒への手紙一 12 章 7 節、ローマの信徒への手紙 12 章 6-8 節。

C. 今日の奇跡？

神は祈りに答えてくださる（ヤコブ 5:16）が、多くの主張は偽りである（テサロニケ第二 2:9）。信仰は聖書に基づいている（ヨハネ 20:30-31）。

- 関連する聖句：マタイによる福音書 24:24、フィリピの信徒への手紙 4:19、詩篇 103:3、コリントの信徒への手紙二 12:9。

聖霊 II：よくある質問への回答

神は今日、癒しを行うことができるのか？

祈りを通して（ヤコブ 5:16）、超自然的な賜物は止んだ（第一コリント 13:8）。

- 関連する聖句：フィリピの信徒への手紙 4:6-7。

奇跡は救済を証明するのか？

いいえ（マタイ 7:22）。従順は不可欠です（ヨハネ 15:14）。

- 関連する聖句：ヨハネの手紙一 5:3、申命記 13:1-3。

今日、私たちは聖霊に導かれているだろうか？

み言葉を通して（ガラテヤ 5:16、テモテ第二 3:16-17）。

- 関連する聖句：ヨハネによる福音書 16:13。

旧約聖書の時代にも人々は聖霊を受けていたのか？

特定の任務に応じて選択的に内住する（士師記 3:10）。普遍的な内住は新約聖書で述べられている（ヨハネ 7:39、使徒 2:17-18）。

- 関連する聖句：サムエル記上 16:13、民数記 11:25、詩篇 51:11。

奇跡的な贈り物は使徒たちからのみ与えられたものだったのか？

しばしばこのように伝えられた（使徒行伝 8:17-18、コリントの信徒への手紙一 12:11）。

- 関連する聖句：使徒行伝 19 章 6 節、ローマ人への手紙 1 章 11 節。

聖霊のバプテスマとは何ですか？

水と聖霊を一つにする一つの洗礼（エフェソの信徒への手紙 4 章 5 節、ヨハネによる福音書 3 章 5 節）。

- 関連する聖句：使徒行伝 10 章 47-48 節、マルコによる福音書 1 章 8 節。

聖霊に満たされるとはどういう意味ですか？

神の御影響の下で生きる（エペソ 5:18、使徒 4:31）。

- 関連する聖句：コロサイ人への手紙 3:16、使徒言行録 13:52。

聖霊は御言葉を超えて働くのか？

御言葉を通して働く（ヨハネ 16:8、ヘブライ 4:12）。拒絶は離脱のリスクを伴う（ヘブライ 6:4-6、第一ヨハネ 5:16）。

- 関連する聖句：コリント人への手紙第一 2:13、イザヤ書 59:21。

キリスト教以外の宗教にも奇跡は存在するのか？

欺瞞的な者もいる（テサロニケ第二 2:9）。神は出来事を通して人々を導く（使徒 17:27）。

- 関連する聖句：申命記 13 章 1-3 節、出エジプト記 7 章 22 節。

私たちは今でも奇跡を必要としているのだろうか？

聖書は十分である（ペテロ第二 1:3、ヨハネ 20:30-31）。

- 関連する聖句：詩篇 119:105、ユダ 3。

夢は今日の聖霊の働きを示すことができるのか？

神の摂理による導きはあり得るが（ヨブ記 33:14-16）、聖書によって検証される（申命記 13:1-3、テサロニケ人への手紙第一 5:21）。

- 関連する聖句：テサロニケ人への手紙第一 5:21-22、ダニエル書 2:28。

補足研究：感情

A. 感情と信仰

感情は人を導くこともあれば、惑わすこともあります。詩篇 37:4、箴言 3:5-6、マタイ 7:21。聖書に照らして吟味しましょう（第一ヨハネ 4:1）。心は偽りに満ちています（エレミヤ 17:9、マルコ 7:21-23、箴言 28:26）。御霊と御言葉によって守られなければ、空虚になったり、信仰から離れたります（ローマ 8:14、詩篇 119:11）。聖霊は感情ではなく人格であり（「神は霊である A」で詳しく説明されているように）、喜びや平和などの実を、その働きの結果として生み出すのであって、聖霊の本質ではありません（ガラテヤ 5:22-23）。感情は聖霊の臨在に伴うことがあります、聖霊は知性と意志を持つ別個の存在であり（ローマ 8:27、第一コリント 12:11）、主観的な感情に還元できるものではありません。

- 関連する聖句：ヘブライ人への手紙 4 章 12 節、ローマ人への手紙 12 章 2 節、箴言 4 章 23 節。

B. 聖餐の役割

聖餐式、すなわち主の晩餐は、信者をキリストの体と血にあずかることによってキリストと結びつけ、聖霊を通して祭司の民として神との一致を保ちます。コリントの信徒への手紙一 10:16-17 には、「私たちが祝福する祝福の杯は、キリストの血にあずかることではないでしょうか。私たちが裂くパンは、キリストの体にあずかることではないでしょうか。パンは一つですから、多くの私たちも一つの体です。なぜなら、私たちは皆、一つのパンにあずかるからです」とあります。このあずかり（ギリシャ語：コイノニア、交わり）は、キリストの犠牲との一致を意味します（ルカによる福音書 22:19-20：「これはあなたがたのために与えられるわたしの体です…あなたがたのために注がれるこの杯は、わたしの血による新しい契約です」）。ヨハネによる福音書 6 章 56 節には、「わたしの肉を食べ、わたしの血を飲む者は、わたしのうちにとどまり、わたしもその人のうちにとどまる」とあり、聖餐がキリストのうちにとどまり、聖霊によって支えられ（エフェソの信徒への手紙 1 章 13-14 節）、生ける水がもたらされる（ヨハネによる福音書 7 章 37-39 節：「その人の心から生ける水の川が流れ出るであろう…これは聖霊について言われたことである」という役割を強調しています。聖餐は、ヨハネによる福音書 6 章 35 節にあるように、「わたしは命のパンである」という聖句にあるように、マ

ナ（出エジプト記 16 章 4 節）と供えのパン、すなわち臨在のパン（出エジプト記 25 章 30 節）を成就するものです。ヨハネによる福音書 6 章 49-51 節は、「あなたがたの先祖は荒野でマナを食べたが、死んだ…わたしは天から下ってきた生けるパンである」と対照的に述べています。ヨハネによる福音書 6 章 63 節には、「命を与えるのは霊であって、肉は何の役にも立たない」とあり、霊が聖餐を生き返らせ、単なる物質的な要素以上のもの、すなわち信仰による霊的な糧（ヨハネによる福音書 6 章 53-58 節：「人の子の肉を食べ、その血を飲まなければ、あなたがたのうちに命はない…わたしの肉を食べ、わたしの血を飲む者は永遠の命を得る」となることを示しています。キリストの供え物を力づけた霊（ヘブライ人への手紙 9 章 14 節：「永遠の霊によって、傷のないご自身を神にささげられた」）は、信者がふさわしく聖餐にあずかることを可能にし、良心を清め（ヘブライ人への手紙 9 章 14 節）、信者を一つの体として結び合わせます（コリント人への第一の手紙 10 章 17 節、エフェソ人への手紙 4 章 4 節：「一つの体、一つの霊」）。聖餐式は、キリストの犠牲への参与と賛美の捧げ物（コリントの信徒への手紙一 10:16-17、ヘブライ人への手紙 13:15）であり、信者を生きた神殿（コリントの信徒への手紙一 6:19）および聖なる祭司職（ペトロの手紙一 2:5）として新たにし、「わたしが聖なる者であるように、あなたがたも聖なる者となりなさい」（ペトロの手紙一 1:16）と召し、洗礼によって与えられた聖霊の賜物（ペトロの手紙一 3:20-21、使徒言行録 2:38）の上に築き上げます。聖餐式に先立ち、悔い改めは信者を清めます。祭司たちが神殿の青銅の洗盤で身を清めたように（出エジプト記 30:17-21）、またイエスが弟子たちの足を洗ったように（ヨハネによる福音書 13:5-10：「わたしがあなたがたを洗わなければ、あなたがたはわたしと交わりを持つことができない」）、罪のパン種を取り除き（コリントの信徒への手紙一 5:6-8）、ふさわしい交わりへと導きます（コリントの信徒への手紙一 11:27-29）。聖餐式において、信者は祭司として、聖霊の力によって（ローマの信徒への手紙 8:26）、神に捧げる香のように（詩篇 141:2、黙示録 8:4、ヘブライ人への手紙 13:15）、感謝の祈りを捧げます。キリストの犠牲、すなわち神殿の幕を引き裂く行為（マタイ 27:51）は、神の臨在への道を開き（ヘブライ 10:19-22）、聖餐において成就する（ヨハネ 6:56）。コリント第一 11:27-29 は、「ふさわしくない仕方で主のパンを食べ、主の杯を飲む者は、主の体と血に対して罪を犯すことになる」と警告し、裁きを避けるために悔い改めるよう促している（ヘブライ 9:14）。命を与える者としての聖霊（ローマ 8:11：「イエスを死者の中からよみがえらせた方の霊があなたがたのうちに宿っているなら、その霊はあなたがたの死ぬべき体にも命を与えるでしょう」）は、キリストの体と血を復活の命と永遠の結合の手段とすることによって、聖餐を強める（ヨハネ 6:54：「わたしの肉を食べ、わたしの血を飲む者は永遠の命を得、わたしは終わりの日にその人をよみがえらせる」）。このように、聖餐式は単なる象徴的なものではなく、キリストの犠牲を通して聖霊によって力づけられた交わりであり、聖性と共同体の一体感を育むものである。

- 関連する聖句: マタイによる福音書 26:26-28、「取って食べなさい。これはわたしの体です。…

皆、これを飲みなさい。これはわたしの契約の血です」；ヨハネによる福音書 15:4、「わたしにとどまりなさい。そうすれば、わたしもあなたがたとどまります」；出エジプト記 16:4、「わたしは天からパンを降らせる」；ヨハネによる福音書 6:31-35、「わたしは命のパンである」；出エジプト記 25:30、「あなたは臨在のパンを置く」；出エジプト記 30:17-21、「アロンとその子らは洗う」；ヨハネによる福音書 13:5-10、「イエスは弟子たちの足を洗い始めた」；コリントの信徒への手紙一 5:6-8、「古いパン種を取り除きなさい」；詩篇 141:2、「わたしの祈りが香として数えられますように」；ヨハネの黙示録 8:4、「香の煙と聖徒たちの祈り」、ヘブライ人への手紙 13:15、「神への賛美のいけにえ」、ペトロの手紙一 1:16、「あなたがたは聖なる者となりなさい。わたしは聖なる者だから」、コリント人への手紙一 11:27-29、「ふさわしくない仕方パンを食べたり、杯を飲んだりする者はだれでも」、使徒言行録 2:42、「彼らはパンを裂くことに専念した」。

C. 聖霊の奇跡的な賜物

使徒の按手によって授けられた（使徒行伝 8:17-18：「すると、使徒たちは彼らの上に手を置くと、彼らは聖霊を受けた」、テモテへの手紙第二 1:6）。これは福音のメッセージを確認するためであった（ヘブライ人への手紙 2:3-4：「それはしるしと不思議によって証しされた」）。ペンテコステの日に炎の舌として現れたこれらの賜物（使徒行伝 2:3-4、2:17-18）は、教会の土台となった（エペソ人への手紙 2:20：「使徒と預言者の土台の上に建てられた」）。コリント人への手紙第一 13:8-10 には、「愛は決して尽きることがない。預言は廃れ、異言は止み、知識は廃れる。しかし、完全なものが来るとき、不完全なものは廃れる」とある。この一節は、奇跡的な賜物が今日でも続いているかどうかについて議論を巻き起こし、主に二つの見解、すなわち終息説と継続説が存在する。

終結論者の見解：終結論者は、コリント人への手紙第一 13:8-10 の「完全な」を新約聖書の正典の完成と解釈し、預言、異言、癒しなどの奇跡的な賜物は、教会の設立時に使徒のメッセージを認証するために考案された一時的なものであったと主張します（ヘブライ人への手紙 2:3-4）。聖書が完全に啓示されると、聖書が完全な指針を提供するので、これらの賜物は終わりました（テモテへの手紙第二 3:16-17：「聖書はすべて神の靈感によって書かれたものであり、…神の人が完全な者となり、あらゆる良い働きのために整えられるためです」）。終結論者は、奇跡的な賜物はしばしば使徒と結びついており（使徒言行録 8:17-18、使徒言行録 19:6）、使徒の特別な役割は 1 世紀で終わったと指摘します（エペソ人への手紙 2:20）。今日、預言は、聖書に沿った聖霊に導かれた説教や教えとして理解されています（コリント人への手紙第一 14:3：「預言する者は、人々を励まし、建て上げるために語るのです」、ローマ人への手紙 12:6）。また、夢や啓示が神の摂理によるものであれば、神の言葉と一致していなければなりません（テサロニケ人への手紙第一 5:21：「すべてを吟味しなさい」）。終息論者は、

聖霊の奇跡を伴わない働き、すなわち、罪を悟らせ、聖書を通して導き、実を結ぶ働き（ヨハネによる福音書 16:8、ガラテヤ人への手紙 5:22-23）は依然として十分であると強調し、人を欺く可能性のあるしるしを求めることに対して警告しています（テサロニケ人への手紙第二 2:9：「サタンはあらゆる力と偽りのしるしをもって活動している」）。聖餐は、この導きを支え、信者をキリストの命と結びつけます（ヨハネによる福音書 6:56）。

継続主義の見解：継続主義者は、「完全な」とはキリストの再臨、すなわち信者が「顔と顔を合わせて」（コリント人への手紙第一 13:12）見る終末の状態を指すと信じています。彼らは、聖霊が「御心のままに一人ひとりに」奇跡的な賜物を分配する（コリント人への手紙第一 12:11）ので、奇跡的な賜物はその時まで続く主張します。継続主義者は使徒行伝 2:17-18 を指摘し、ヨエル書 2:28 の幻、夢、預言の預言がペンテコステで成就するものの、「終わりの日」には「すべての肉なる者」に及ぶことから、奇跡的な活動が継続していることを示唆しています。彼らはまた、歴史のおよび現代の奇跡の記録を引用し、聖霊による証し（使徒行伝 1:8）と教化（コリント人への手紙第一 14:4）のための力づけが継続していると主張します。継続主義者は、欺瞞を避けるために、聖書に照らしてすべての主張を厳しく吟味し（第一ヨハネ 4:1：「霊を見分けなさい」）、賜物がキリストを栄光に輝かせ（ヨハネ 16:14）、敬虔な実を結ぶ（ガラテヤ 5:22-23）ことを確実にします。使徒たちの基礎的な役割を認めつつ（エペソ 2:20）、聖霊の賜物はすべての信者を通して働き、キリストの再臨まで教会を支える（マタイ 25:1-13）と信じています。聖餐式はこれをさらに強化し、聖霊の命を伝える（ヨハネ 6:54）ものです。

総合と適用：両方の見解とも、聖霊が信者に力を与えること（使徒 1:8）、そしてすべての霊的現象は聖書に合致し（2 テモテ 3:16、1 ヨハネ 4:1-3）、キリストを栄光に輝かせ（ヨハネ 16:14）、教会を建て上げる（1 コリント 14:3-4）必要があることに同意しています。終止論者は聖書の十分性を優先し、継続論者は聖霊の継続的な奇跡的働きを強調します。信者は、聖霊の油（ゼカリヤ 4:2-6、マタイ 25:4）と聖餐の糧（ヨハネ 6:51）によって燃やされるランプとして、従順と識別を通してランプを燃やし続け（ルカ 12:35）、霊的な空虚（マタイ 12:43-45）や欺瞞（申命記 13:1-3）を避けなければなりません。奇跡的な手段であろうとそうでない手段であろうと、聖霊の働きは信者を生きた神殿に変え（コリント人への手紙第一 6:19）、キリストの再臨に備えさせる（エペソ人への手紙 5:25-27）。

- 関連する聖句：ユダ 3、「聖徒たちに一度限り伝えられた信仰のために戦いなさい」；使徒 2:17-18、「わたしはすべての人にわたしの霊を注ぐ」；コリント 12:11；テサロニケ 1:19-21、「御霊を消さないでください…すべてを吟味しなさい」；申命記 13:1-3；エペソ 4:11-12；コリント 14:39。

結論

聖霊は、岩から湧き出る水、聖餐式で成就するマナ、油と火、鳩、開かれた道（ヘブライ人への手紙 10:20）といった象徴を通して、悔い改め、洗礼、聖餐式を通して人々を変容させます。信者は福音と聖餐式を通して聖霊を受け、キリストの再臨に備えて備えられた生きた神殿として、信仰から離れることのないよう忍耐強く歩みます。按手はこの働きを確かなものにします。聖霊は神格として（ヨハネによる福音書 14:26、ローマ人への手紙 8:26-27、エフェソ人への手紙 4:30）、キリストの体と血に真に参与する聖餐式に力を与え、その臨在を通して命を与えます（ヨハネによる福音書 6:63、ローマ人への手紙 8:11）。

- 関連する聖句：ヨハネによる福音書 6:31-35、ヨハネによる福音書 19:34、コリントの信徒への手紙一 11:26、コリントの信徒への手紙二 5:17、エゼキエル書 36:26-27、ヨハネの黙示録 21:5。

追記：ペテロの王国への鍵と聖霊の役割

マタイによる福音書 16 章 19 節に記されている天国の鍵

マタイによる福音書 16 章 19 節で、イエスはペテロにこう告げています。「わたしはあなたに天の御国の鍵を与えよう。あなたが地上でつなぐことは天でもつなぐがれ、あなたが地上で解くことは天でも解かれるであろう。」この聖句は、ペテロがイエスを「生ける神の子、キリスト」と告白したこと（マタイ 16:16）に基づき、ペテロに福音を宣べ伝える使徒的権威を与え、信者たちに御国への扉を開くものです。「鍵」は、受け入れるか排除するかという管理権を象徴しており、ペンテコステの日に聖霊に満たされて説教したペテロ（使徒 2:14-41）に見られるように、悔い改めとバプテスマを呼びかけ、聖霊の賜物を約束しています（使徒 2:38-39）。ペトロの名ケファ（「岩」、ヨハネ 1:42）に由来するこの権威は、究極の岩であるキリスト（第一コリント 10:4）からの聖霊の注ぎを伝え、ヨエル 2:28 を成就する（使徒 2:17-18）。ペトロの「縛り、解く」ことは、異邦人（使徒 10:44-48）を教会に迎え入れ、教会の慣習を形作る（使徒 15:7-11）ことに見られるように、聖霊の導きの下で神の意志を宣言する彼の役割を反映している（ヨハネ 16:13）。聖餐は、マナの成就として、この福音の宣言を支える（第一コリント 11:26）。

聖霊は神の国への鍵なのか？

マタイによる福音書 16 章 19 節では聖霊が明確に「鍵」として描かれてはいませんが、聖霊は鍵の機能を可能にする神聖な力です。鍵は福音のメッセージと、それを宣べ伝えるペテロの権威を表していますが、聖霊はこのメッセージを次のような方法で効果的にします。

- 罪、義、裁きについて人々の心を悟らせ（ヨハネ 16:8-11）、福音を受け入れる準備をさせる。
- 霊的な再生を通して信者を再生させ（ヨハネ 3:5、テトス 3:5）、神の国への道を開く。
- 信者を神のものとして印し、王国における相続を保証する（エペソ 1:13-14）。
- ペテロの説教に見られるように、「炎のような舌」（使徒言行録 2:3-4、14-36）を伴う力強い宣言は、聖霊の油が燭台を燃やす様子（ゼカリヤ書 4:2-6、ヨハネの黙示録 1:20）に似ています。岩から湧き出る水（コリントの信徒への手紙一 10:4、ヨハネによる福音書 7:37-39）、鳩（マタイによる福音書 3:16）、風（ヨハネによる福音書 3:8）、火（使徒言行録 2:3）として描かれる聖霊は、信仰、洗礼、按手を通して神の国への扉を開き、キリストの再臨を待つ信者たちを聖餐式を通して支えます。
- 関連する聖句：マタイによる福音書 16:16-19、「あなたはキリストです…わたしはあなたに鍵を与えます」；使徒言行録 2:38-39、「悔い改めてバプテスマを受けなさい…聖霊の賜物を受けなさい」；ヨハネによる福音書 16:13-14、「彼はあなたをすべての真理へと導きます…彼はわたしを栄光に輝かせます」；イザヤ書 22:22、「わたしはダビデの家の鍵を彼の肩に置く」。

セクション／トピック	主要テーマ／	主要記号／種類	聖書の主要な引用箇所	実践的／教義的応用
生まれ変わりと紹介	霊的な再生； 神の王国への 入場	岩から湧き出る 水、鳩、火、油、 雲、マナ、洪水	ヨハネ 3:3- 8；使徒 2:38。コリ ント第一 6:19。10:4； ヘブライ 10:19-22	悔い改め → 水の洗礼 → 聖霊の 受容 → 聖餐への参加

セクション／ トピック	主要テーマ／ 聖霊の役割	主要記号／種類	聖書の主要 な引用箇所	実践的／教義的応用
神は霊である	聖霊は神ご自身であり、三位一体における神聖な位格である。	息吹／風、創造の地に漂う	創世記 1:2; 詩篇 139:7-10; イザヤ書 63:10; ヨハネによる福音書 14:26; 16:13; エフェソの信徒への手紙 4:30; 使徒言行録 5:3-4	知性、意志、感情を持ち、教え、導き、罪を悟らせ、仲裁し、悲しむことができる。
創造における 霊と旧約聖書の 指導者たち	生命を与える力。選ばれた旧約聖書の登場人物に力を与える。	生命の息吹が指導者たちに押し寄せる	創世記 2:7、ヨブ記 33:4、民数記 11:17、士師記 6:34、サムエル記上 16:13、ヨエル書 2:28	新約聖書における普遍的な内住と刷新を予兆する

セクション／ トピック	主要テーマ／ 聖霊の役割	主要記号／種類	聖書の主要 な引用箇所	実践的／教義的応用
象徴的表現	供給、指導、浄 化、権限付与	岩から湧き出る 水（キリスト）、 雲/火の柱、鳩、 ランプ用の油、 炎の舌、風	出エジプト 記 17 章、コ リント人へ の手紙第一 10 章 4 節、 ヨハネによ る福音書 7 章 37-39 節、 使徒言行録 2 章 3-4 節、 ゼカリヤ書 4 章 6 節、 ヨハネによ る福音書 3 章 8 節	生ける水、光、方向性とのつな がり。聖体拝領とキリストへの 準備と結びついている。
イエス・キリ ストの霊	イエスの宣教 活動を力づけ、 信者たちに約 束され与えら れた	洗礼の鳩、奇跡 を起こす力	ルカ 4:1,14,18; 使徒 10:38; ヨハネ 14:16-17; 16:7-15; 使 徒 2:38-39	助け手／慰め手。世界を罪に気 づかせ、再生させ、実を結び (ガラテヤ 5:22-23)、証しを力 づける。

セクション／トピック	主要テーマ／聖霊の役割	主要記号／種類	聖書の主要な引用箇所	実践的／教義的応用
聖霊はどのよう にコミュニ ケーションを とるのか	聖霊が信者に 語りかけ、導 くための経路	—	ヨハネ 16:13; 2 テ モテ 3:16; ローマ 8:16,26; 使 徒 13:2; ヨ エル 2:28; 使徒 2:17	第一に：聖書 その他：内なる証し／促し、祈り（うめき）、霊的な賜物、他の信者、罪／真理の確信 夢と幻：終わりの日に神の摂理による導きとなる可能性あり。聖書によって厳密に吟味されなければならない（申命記 13:1-3、テサロニケ第一 5:21）。決して聖書よりも権威を持つものではない。
酒の試飲	真の霊的活動 と偽の霊的活 動を見分ける	—	ヨハネ第一 4:1-3; ヨハ ネ 16:13- 14。ガラテ ヤ 5:22-23	テスト方法：イエスを主と告白すること、聖書との一致、敬虔な実を結ぶこと、キリストを賛美すること
按手	基礎的な実践： 霊の授け、賜 物、使命の授 与、癒し	転送、祝福	ヘブライ 6:1-2; 使徒 8:17-19; 19:6; テモテ 第一 4:14。 テモテ第二 1:6	洗礼の後に行われることが多い。今日では聖霊の満たし、叙任、癒しのために用いられる。
留置およびシ ーリング	聖霊は信者の 中に神殿とし て宿り、救い を保証する。	シール、保証、更 新エージェント	コリント第 一 6:19。エ ペソ 1:13- 14。ローマ 8:9-11。テ トス 3:5	改宗／洗礼の際に受け継がれる。相続を保証し、人格の変容をもたらす。

セクション／トピック	主要テーマ／聖霊の役割	主要記号／種類	聖書の主要な引用箇所	実践的／教義的応用
奇跡の贈り物に関する議論	兆候の賜物に関する終結主義と継続主義	異言、預言、癒し	コリント第一 12-14 章。13:8-10; ヘブライ 2:3-4。テモテ第二 3:16-17	終結論者：使徒たち／正典の時代で終結した 継続論者：キリストの再臨まで続く どちらの立場も聖書との整合性とキリストの栄光を称えることを必要とする
聖体拝領	聖霊の力によってキリストの体と血に参与する	マナ／供えのパンが満たされ、生ける水がもたらされた	ヨハネ 6:35,51-63。コリント第一 10:16-17。11:27-29; ヘブライ 13:15	キリストとの一致を維持し、良心を清め、信者を一つの体および聖なる祭司職として結びつける。悔い改めとふさわしい参加を必要とする。
結論と王国の鍵	聖霊は信者を変容させ、支え、キリストの再臨に備えさせる。	鍵（福音の宣言）	マタイ 16:19、使徒 2:38-39、ヨハネ 7:37-39、黙示録 19:7-9	福音、洗礼、聖餐、従順を通して、ペテロの鍵は聖霊の働きを導き、神の国を開く。